

第11回麻雀最強戦

デジタルの申し子 最強位を征する!!

2000
1.16



■長村大（おさむらだい）
最高位戦所属。今年、C2リーグ
からCリーグへの昇級を決めた。
成蹊大学2年生。1976.7.9生。

今世紀最後となつた第11回麻雀最強戦
プロになつて3年の頂点に立つたのは、
昨年のプロ最終予選でトツブ、長村大。
そして決勝でトツブと、完全無欠な勝利を収めた。
彼はこれまでに型破りな勝ち方、23歳という若さ、
これからすべてを塗り替えていくのだろうか？

前回優勝した荒正義が今年も勝ち残った。準優勝の加藤勝久もいる。関係筋の多くが本命とみた馬場裕一。第3期最強位の伊藤優孝。意外な強豪・五十嵐毅。プロ第3世代最強の打ち手・原浩明。さらにアマチュアからも好メンバーがそろつた。
その強力メンバーで最強の座を射止めたのは「デジタルの申し子」と呼ばれる若手プロ・長村大だった。

今年度——。全国3千人が参加した8月の読者大会。漫画家ってこんなにいたの？ と驚いてしまう9月の漫画家大会。きらびやかな面々が集つ9月の著名人大会。そして3次に渡るハイレベルなプロ予選。そこから勝ち残つた屈指の16名が本大会の場に会した。

初期は精選されたメンバーを集めたクローズ大会。第6回からシステムを変え、読者、漫画家、著名人、プロという4大予選を勝ち抜いた者だけで争われる日本一の大規模大会となった。

新しい波——歴史と伝統を誇る最強戦にも、デジタル雀士の時代が到來した。昭和が終わった1989年、最強戦は始まつた。

麻雀界・歴史の変わり目——。